

島根県は、 安心してドナーになるための 環境整備を支援しています。

骨髄ドナー適合が、治療の第一歩となる数少ないチャンスです。

移植のためには、患者さんとドナーの白血球の型(HLA型)の適合度を確認する必要があります。

HLA型は親子ではまれにしか一致せず、非血縁者(他人)間では、数百から数万分の1の確立でしか一致しません。

だからこそ、広くドナーを募る必要があります。

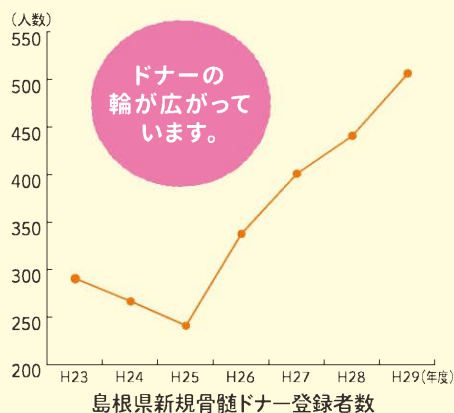
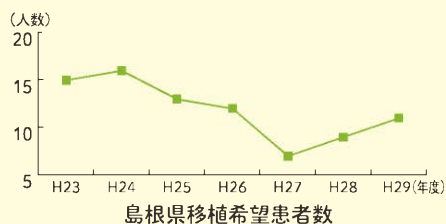
毎年少なくとも2,000人もの患者さんが、 骨髄バンクを介する移植を必要としています。

日本では毎年新たに約1万人の方が
白血病などの血液疾患を発症しているといわれています。

そのうち骨髄バンクを介する移植を
必要とする患者さんは

毎年少なくとも2,000人を数えます。

島根県でも、移植を必要としている
患者さんがいます。



まずは申請書類を、ご請求ください。



公益財団法人
ヘルスサイエンスセンター島根
〒693-0021 島根県出雲市塩冶町223-7
TEL:0853-22-2556 FAX:0853-25-8823

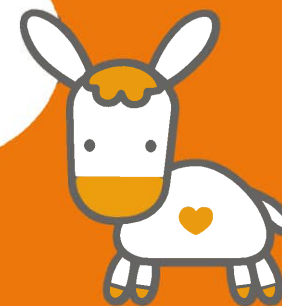
しまねまごころバンク 検索

<http://www.hsc-shimane.jp/>

事業主のみなさまへ

従業員が 骨髄ドナーになったら、 どうしますか!?

ドナー休暇制度
導入促進助成金制度
があります。



マスコットキャラクター
まごころば



島根県

事業主の協力が 患者さんの尊い命を救います

従業員が骨髄等の提供を行うには、
「職場の理解と環境整備」が必要不可欠です。
しまねまごころバンクでは、従業員を骨髄ドナーとして
送り出していただける事業主を応援するため、
「ドナー休暇制度導入促進助成」を行っています。



対象者

「ドナー」が従事する島根県内事業所。
ただし、国、地方公共団体は除きます。

交付要件

以下の通りになります。

ドナーである従業員の方に、骨髄等の提供に際して要する下記の入通院に対し
て有給休暇を付与した場合に交付されます。但し、交付対象となる有給休暇は、
就業規則等に休暇がドナー休暇等の名称で位置付けられている場合または新た
に位置付けた場合で、かつ、通常の有給休暇とは別に付与する場合に限ります。

健康診断
のための通院

自己血貯血等
のための通院

骨髄等の採取
のための入院

その他、骨髄等の提供に関し、
公益財団法人日本骨髄バンクまたは
医療機関が必要と認める 入通院

助成額

助成額は次の算式により算出した金額となります。

上記交付要件に該当する事由により取得した

有給休暇の日数×7,000円 上限49,000円

※1回の休みが1日(8時間)に満たない場合は、1日未満の付与した休暇の総時間を8で
除して得た数(1未満の端数があるときは、小数点第2位以下は切り捨て)とする。

Q. 骨髄移植・ 末梢血幹細胞移植ってなに？



A. 骨髄移植・末梢血幹細胞移植とは、白血病や再生不
良性貧血などの病気によって、正常な血液がつくられなくなった患者さん
に、骨髄等提供者(ドナー)から提供された造血幹細胞を静脈に注入(移
植)することにより、患者さんの造血機能を回復させる治療法です。
骨髄・末梢血幹細胞を提供できるのは年齢20歳以上、55歳以下です。

提供までの流れ

骨髄・末梢血幹細胞の提供は、それぞれ以下の流れで
行われますが、標準として7日間程度の入通院を要します。

①約1ヶ月前に採取病院で詳しい健康診断をします。

骨髄提供の場合

- ②提供日の1～3週間前に自己血
輸血のための採血をします。
- ③通常3泊4日の入院で骨髄液を
採取します。

末梢血幹細胞提供の場合

- ②3～4日の通院または入院で白血球
を増やす薬(G-CSF)を注射します。
- ③注射後4または5日目に
末梢血幹細胞を採取します。
(採取の際、入院が必要です。)

④採取された骨髄または末梢血幹細胞は患者さんの待つ病院へ
運ばれ移植されます。

⑤採取後は数日内で退院し、日常生活に戻ることができます。

提供を受けた患者さんの声

17歳の時に骨髄異形成症候群と診断さ
れ32歳の時に症状が悪化。医師から「40
歳まで生きることが難しい」と言われ移植
を決意しました。移植で重要なHLA型の
適合は1座不一致でしたが、ドナーさんが
見つかって骨髄液が届いたときは、言葉に
ならない「ありがとう」という思いでした。

35歳女性

提供されたドナーの声

適合通知が届いたのは、ドナー登録から
6年、看護師になって3年目のことでした。
採取日が決まり、健康管理に注意をして
1ヶ月余りを過ごしました。提供から半年
後、患者さんから力強い筆圧の手紙が届
きました。「いのちのボタンが繋がった」と
感じた瞬間でした。嬉しくて、嬉しくて言葉
になりませんでした。

40歳代男性